

平成28年度第1回新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会 議事録概要

- 1 日 時 平成28年7月14日(木) 13:30～14:38
- 2 場 所 新居浜市保健センター 3階 中会議室
- 3 出席者 武方 誠二委員、中山 恵二委員、井石 安比古委員、鈴木 誠祐委員、
加藤 すみれ委員、大野 和久委員、藤田 秀喜委員、岡部 嘉幸委員、
亀井 利行委員、木戸 貴美佳委員、
(欠席者): 井田 仁美委員、秦 哲久委員、宮本 良仁委員、
村上 美代子委員
その他: 総務警防課 伊藤副課長、西条保健所企画課 野村係長
事務局: 保健センター 宮崎主幹、堀副所長、岩崎係長

4 傍聴者 なし

5 会議内容

(事務局)

ただいまから新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会を開会いたします。

本日は、ご多忙のところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

委員の皆様につきましては、資料1の委員名簿のとおりでございますが、人事異動に伴い、新しく委員に就任いただきました西条保健所企画課長、大野委員、総合政策課長、亀井委員、保健センター所長の木戸委員です。簡単ですが、事務局からご紹介させていただきます。28年度は、このメンバーで会議を進めてまいりたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

なお、井田委員さん、秦委員さん、村上委員さんからは、本日、欠席のご連絡をいただいております。

この会議は、「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき、傍聴席を設けておりますが、本日の傍聴者はございません。

それでは、新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会設置要領第6条に基づきまして、これからの議事進行は、武方会長にお願いします。

(議題1・2概要)

武方会長: それでは、議題(1)の「新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会の平成27年度活動実績」、続けて、議題(2)新居浜市の医療資源について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

事務局: 議題(1)平成27年度救急医療体制維持確保検討委員会活動実績については、前回2月18日に開催しました平成27年度第3回の、検討委員会において、説明させていただきました。その際、配布しました内容のとおりでしたので、報告させていただきます。

続いて、議題(2)「新居浜市の医療資源」について、説明します。

資料2、2から3ページをお開きください。

「1 医療施設と医師数」のうち、医療施設数については、「平成26年医療施設調査」結果から

医療従事者数については、「平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査」結果から抽出し、作成していません。前回調査の平成24年時と比べてみますと、一般診療所数や医師数、医師数のうち、小児科医師数は減少しています。ちなみに、西条保健所から伺ったお話しでは、一般診療所数95の中には、企業内の診療所、特別養護老人ホーム等に設置されている診療所、検診を受けるための診療所の計23か所も含まれているとのことでした。

次に、「2 小児科・産科施設の推移」につきましては、記載のとおりです。

次のページ、「3 新居浜市医師会員の平均年齢」につきましては、医師会事務局から情報提供していただきました。記載内容のとおりです。以上で説明を終わります。

武方会長：非常に簡単な説明でした。

昨年度の活動としては、出前講座が4回、生涯学習講座、座談会をそれぞれ1回ずつ行ったと思います。医師講演会を開催し、ロビー展や広報において、啓発活動も行いました。医療資源の状況については、依然として、厳しい状況が続いていて、開業医の高齢化も進んでいますが、特にご質問、ご意見等はありませんか。

岡部委員：企業内診療所や老人保健施設であるとか、特別養護老人ホームなどの施設内の診療所等が95のうち、23箇所という説明だったが、引き算すると残り72箇所となり、少ないような気がします。

西条保健所企画課 野村係長：

ちなみに23箇所の内訳は、特別養護老人ホームが16で、企業内診療所が5、健診を行う診療所が2で、計23箇所となります。

井石委員：そのようなものでしょう。

中山委員：齋藤先生が開業されたと思いますが、この95の中には入っていないのでしょうか。

武方会長：平成27年度中の開業だったため、これには、入っていないと思います。

その他にないようでしたら、平成28年度も引き続き、広報等についてのご提案等をお願いします。

(議題3 概要)

武方会長：次に、議題(3)の「平成28年度事業計画(案)」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

事務局：議題(3)平成28年度救急医療体制維持確保検討委員会活動計画(案)について、説明します。資料3、4ページをお開きください。検討委員会の開催は、例年どおりの3回を計画しています。本日、第1回目の検討委員会では、今年度、新居浜市医師会が、協働事業の方法によって、救急啓発DVDを作成されることになっております。これまで救急啓発に携わってこられた検討委員の皆様から、作成にあたって、ご意見をいただければと、事務局としては考えております。そこでまず、おとし今治市医師会で作成されたDVDを、この後ごらんいただき、ご参考にしていただき、DVDを見終えた後、皆様で意見交換していただければと思います。

続いて、前回の検討委員会において、救急医療啓発は継続して行う必要があるとのことから、平成29年1月28日(土)に救急医療啓発講演会を開催し、医師講演にあわせて、適正受診啓発を行うことについて、ご協議いただきました。医師講演につきましては、新居浜市医師会、中山会長に、ご講演をお引き受けいただいておりますが、来場していただいた方と、新居浜市版の救急医療啓発DVDを鑑賞し、新居浜市の救急医療体制や、適正受診の啓発をあわせて行う予定となっておりますが、適正受診の啓発の方法について、本日より、ご協議を進めていただきたいと思います。

また次回、第2回委員会の開催日つきましても、本日、この会において決定いただければと思います。よろしくお願ひします。

次に、第2回委員会につきましてもは、救急医療啓発講演会の広報についてなど、さらに詳細な内容について、ご協賛いただきたいと考えております。

次に、第3回委員会につきましてもは、例年どおり、2月ごろに開催し、今年度の活動報告を行い、本検討委員会の委員の任期が最終年を迎えておりますことから、委員会の活動について、総括したいと考えております。

その他、救急医療啓発としましては、出前講座等、市民の方からの要望にお応えしていくほか、市政だよりには、9月号、3月号に、特集記事を掲載する予定です。

9月には救急医療週間にあわせて、仮称「新居浜市の救急医療を考えよう」と題し、保健センターロビーにおいて、展示を行い、適正受診啓発を行う予定です。以上で、活動計画（案）の説明を終わります。

武方会長：平成28年度の活動計画案について、何かご質問、ご意見、ご提案等はありませんか。

中山委員：第2回の検討委員会の開催については、木曜日を予定していますか。10月20日に、いきいきフェスティバルの実行委員会の予定がすでに入っていますので、20日は避けていただきたいことと、時間帯も、この時間帯ですか。

武方会長：2回目の日程について、ここで決定させていただきます。原則、木曜の開催としていますので、10月6日か、13日か、20日か、27日となりますが、10月の初めに開催したいと思ひますので、10月6日はいかがですか。今のところ、6日で、支障のある方はいらっしやいますか。特別な事情があれば、変更することはありますが、第2回検討委員会は、10月6日に開催することにします。いずれにしても、10月中には開催します。平成28年度の、出前講座の依頼は、今のところありませんか。

事務局：はい。

武方会長：昨年度は4回、出前講座を行っていますが、こちらの方から、積極的にお声をかけるような機会はありますか。待ちの姿勢ですか。

木戸委員：全校区において、座談会を開催するということから、一昨年から各校区単位で座談会を開催してまいりました。昨年度、唯一残っていた角野校区での座談会と、依頼をいただきました保育園等で出前講座を開催しています。今年度に関しましては、今のところ依頼はありませんが、母子に関する出前講座の依頼に合わせて、救急に関する啓発も行っていきたいと考えております。

鈴木委員：このDVDは、いつ完成予定ですか。

事務局：早ければ、11月の予定です。

鈴木委員：DVDができれば、出前講座でなくても、いろいろなところを順次回り、「ぜひ見て下さい」とやれば、全く違ってくると思ひます。救急医療啓発の講演会のときにも、DVDを観賞することになっていますが、もし可能であれば、CATVで流してもらうなど、DVDが完成すれば、かなりアピールにはいいかなと思ひます。DVDを有効に活用していただきたいと思ひます。

武方会長：DVDについては、次の議題に挙げられていますので、そのときにもまた活用方法などについて、ご意見を出していただければと思ひます。

生涯学習講座は、必ず入れてもらえるものではない、ということでしたね。

事務局：はい。昨年度は、こちらから願ひするという形で、講座に入れていただくことができました。受講生の方たちのご意見で、評判が良ければ、今年度もまたと、おっしやっただいていました。消防と一緒に伺ひしまして、消防の方には、今年度も同じような内容でとい

う依頼があったそうですが、残念ながら、こちらの方には、依頼のお話をいただくことはできませんでした。

武方会長：消防に連れて行ってもらったら、どうでしょうか。消防は救命のことで、要望は毎年あると思います。消防のお話しの内容に、救急医療の逼迫している状況についてなどを加えていただき、そのお話しをするために、保健センターからだれか出ていただくと、よろしいかと思えます。

28年度計画（案）に座談会の記載はありますが、最初に始めた、校区を対象にした座談会自体は1周し、終了したということになりますので、出前講座を頑張って開拓できるよう、皆さん意識していただけたらと思えます。

岡部委員：井田委員さんは今日、欠席されていますが、保育協議会の中でご要望をいただければ出かけるように。特に子育て世代の方たちに対して、出前講座を行ってもらいたいと思えます。ちょうど10月から子ども医療について、中学生まで無料化されることとなりますので、そのようなことも含めて、啓発を合わせて行っていただけるとありがたい。また保育協議会に働きかけてください。

武方会長：平成28年度事業計画については、概ねこの内容でご了解いただきたいと思えます。

（議題4概要）

武方会長：次に、議題（4）「救急医療啓発DVD」について、事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

事務局：議題（4）「救急医療啓発DVD」について、説明します。今年度、新居浜市医師会では、救急医療啓発DVD、仮称ではありますが、「みんなで守ろう！新居浜市救急医療体制」を作成されることになっています。これは、協働事業市民提案制度によるもので、法人などと行政とが積極的に連携・協力し合う「協働」という手法で、地域の様々な課題解決に向けた取り組みを行うものといわれています。市民に対し、新居浜市の救急医療の現状を周知し、急患センターなどの利用にあたってのルールを啓発することにより、新居浜市の救急医療体制を維持するために、市民自らができることを認識していただき、行動変容につなげることを目的として、急患センター等でのモンスターペイシェント、救急車のタクシー代わりの利用等、救急医療資源の利用にあたっての問題行動や新居浜市の医療資源の逼迫状況等が組み入れられた内容のDVDを作成される予定と伺っています。また完成後は、急患センターや市内医療機関の待合等で放映され、市民の視聴機会を確保し、あわせて、ポスター等の作成により啓発、DVDの貸出を行われるとお聞きしています。これまで、救急医療のさまざまな啓発に携わってこられた委員の皆様方からも、DVD作成にあたって、ご意見をいただき、新居浜市医師会へ、進言させていただくことができると考えております。また、欠席のご連絡をいただきました3名の委員さんからも、ご意見を出していただけるようお願いしました。井田委員さんから、ご意見をちょうだいすることができましたので、追加資料として、今日、お手元に配布させていただきました。

今治市医師会でも、『今治市の「救急」を守れ！』という10分ほどの救急医療啓発DVDをおとし作成されています。その概要をまとめたものが、資料4、5ページです。この後、ごらんいただきますが、内容を簡単に説明させていただきますと、医師・看護師不足のこと、「軽症」で救急車を呼んでも駆けつけてくれる救急隊員など、救急医療体制を支えてくださる方たちについて、島しょ部を含む市域の広さもあり、救急車の出動回数の多さなど、深刻な危機にある救急医療体制の状況についての説明があります。さらに、今治市において実際にあった、いわゆるコンビニ受診、モンスターペイシェントと呼ばれる事例が紹介されています。また救急医療を担う医師からは、先の例とは反

対に、遠慮しすぎて、我慢してしまう問題や、インターネットからの情報や医療情報番組に翻弄され、誤った情報をうのみにしてしまう問題、もしも救急医療体制が崩壊すると、遠く離れた病院を受診せざるを得ないような事態が起り得る危険性を指摘したコメントが収録されています。最後には、これら山積する課題解決のため、市民一人ひとりが、正しい知識を身につけ、適切な急病時の対応と、適切な医療機関の受診を心がけ、救急医療体制を守るためにできることについて、まとめ、構成された内容となっております。これからごらんください。

- DVD『今治市の「救急」を守れ!』を鑑賞-

武方会長：とてもわかりやすい内容でした。医師会で作成されるということですが。

中山委員：医師会が発案し、保健センターとの協働で、(株)ハートネットワークで制作する予定です。

ロケは、県立新居浜病院の救命救急センター、急患センターや消防署で行う予定です。

武方会長：主体は、どちらですか。

事務局：この会において、委員さん方のご意見をいただいた後、医師会事務局とお話し合いをさせていただいて、内容をまとめていきたいと考えています。

中山委員：これからスタートするということですね。

事務局：そうです。今治市と全く同じ内容にするというのは、どうかと思います。新居浜の独自の意見を入れたいと考えています。

岡部委員：イメージとしては、今治のようなものを作成してはどうか。

事務局：このような感じですが、新居浜の特有の事例ですとか、独自のものがあれば盛り込み、委員の皆様から、こういう事例を載せてほしいという例があれば、時間的な制約はありますが、そういう事例も入れられるのであれば、入れたいと考えています。

武方会長：今治のDVDを見ていただいて、こんなことも入れてはという案があれば、お願いします。

中山委員：モンスターペイシェントについては、ぜひ入れていただきたい。急患センター小児科へ、愛大病院から派遣していただいておりますが、内科の先生2人のときに、子どもを連れてきた保護者が、小児科医を呼べと、今治市とほぼ同じ問題があると新居浜でも耳にします。モンスターペイシェント、コンビニ受診、結局、今治と同じような内容になり、その新居浜版という感じになると思います。

井石委員：一つは、小児の外傷について、適切に誘導できるような内容を入れてほしい。急患センターに来られると、非常に困っています。

中山委員：急患センターは、内科・小児科であり、外科系の患者さんは診られないから、外科系の二次救急医療をあたっていただかなければならない。小児科については、新居浜では、二次救急医療体制が整備されているから、このことについても入れてほしい。二次救急医療を受けられる病院は決まっているが、患者さんが、直接その病院へ行かれるのではなく、まず一次救急の急患センターで医師にトリアージしていただいてから、二次救急医療へつなげること。二次の救急医療については、新居浜が2回、西条、四国中央がそれぞれ1回と決められ、輪番が整っている、このことは消防の方でも把握していただいているおかげで、二次搬送先がほとんど一回でできたというデータがあり、このことも入れてほしい。このことは新居浜独自の取り組みになっています。良いことと、悪いことの双方を入れられるといいと思います。

武方会長：小児の輪番体制の仕組みも、わかりやすく、内容に取り入れられるといいと思います。

井石委員：外科の休日二次救急医療の輪番について、第5日曜と祝日に関して、先日、決まりました。

中山委員：第1から第4までの日曜と祝日については、十全総合病院、住友別子病院、愛媛労災病院、

県立新居浜病院の4病院の輪番で、第5日曜は、林病院と立花病院の交代とする、外科の休日二次救急医療の輪番について、先日、決まりました。

いいところは、急患センターの小児科について、地元の医師と愛媛大学病院から派遣された医師によって、月・水・土曜は21時から、火・木・金曜は23時から、翌朝6時まで、深夜に開設している。また、今までなかった日曜の、急患センター開設時間後の、18時から21時までの間も、開設しているところだと思います。

木戸委員：市では医療機関マップを配布していますが、丸4年前に作成したもので、内容に変更のあった箇所が多数あります。例えば急患センターについても、4月から小児科の日曜の開設時間の拡充があり、このような変更のあるたびに、作成冊数は結構多いものの、その都度、修正を加えています。

DVDの内容に、一次・二次・三次医療の体制について、説明することはもちろんいいと思いますが、詳細についてまで入れるとなると、もし変更になったときに、なかなか編集のし直しができないということが考えられますので、どの程度、載せられるといいのでしょうか。

井石委員：えひめ国体開催時ですが、この医療機関マップを見て、対応してくださいとしていますので、よろしくお願いします。

鈴木委員：医療機関マップに「何月何日現在」と入れて、出せばいいと思います。

木戸委員：医療機関マップについては、そのような対応ができますが、DVDとなりますと、一度作成するとなかなか修正ができません。

中山委員：詳細な内容まで入れると、後で変更ができないから、大まかな、医療体制についての内容でいいと思います。

昨年、開業された先生もいらっしゃいますが、医療機関マップについては、毎年発刊しているわけではありませんか。

木戸委員：在庫がありますので、それに切り貼りして、変更の都度、修正を加えています。

井石委員：国体時に配布するマップは、できるだけ新しい内容にして、渡してください。

各施設に配置される看護師さんたちは、医療機関マップを見て、対応されることとなります。どこの医療機関に依頼するかを判断するとき、医療機関マップを見て対応してくださいと、伝えていきますので。

中山委員：各会場に医師を派遣することができないため、そのようにしています。

岡部委員：保健センターの保健師も救護で、その看護師さんたちと一緒に活動することになります。

井石委員：先日、医療機関マップを見て、対応するというにさせていただきました。マップの整備もお願いします。夜は、急患センターで対応します。

岡部委員：プレ大会も、本番も、土日、祝日の開催は多かったのか。

井石委員：日曜日の日中については、急患センターにお問い合わせしてもらった方がいいと思います。

鈴木委員：先ほどから出ている小児救急や医療機関の役割について、新居浜独自のものは入れたらいいと思います。井田委員さんの意見を見てもやはり、どういときに救急車を呼べばいいのか、というようなことを出してあげないと、素人の方にとっては、なかなか難しい。ただ、今治市の小森先生がおっしゃられていたような急に容態が変化したときでもいいですが、例えば、「普通に歩ける人は、救急車を呼ばないで、自分で来てね」とか、「自分では歩けないような状態だったら、救急車を呼んでね」とか、どういうときに救急車って呼んでもいいのか、ある程度、示すといいと思います。保健センターで配布している冊子の中にも、そのようなものがありますが、そういうことを載せてあげるといいと思います。「来るな、来るな」ではなく、こういうとき、「日中に受診しておきましょう」とか、「次の日でも大

丈夫ですよ」ということを明示してあげると、素人の方でも判断しやすいかなと思います。

井石委員：字面で出すのではなく。

中山委員：こういう場合は、救急車を使ってください、こういう場合はという具体的な内容を入れるのはいいと思います。

鈴木委員：救急病院の先生のご意見も伺うし、救急隊員のご意見も伺って、まとめて、お話ししてもらうのもいいと思います。

井石委員：救急車を呼べば、とりあえずどこか連れて行ってくれるだろうと思われているところがあると思います。

藤田委員：DVDの中で、救急車や救急隊員が映って、話しをしていましたが、実体験に基づくものですし、必要だと思いました。

中山委員：現場の緊迫した雰囲気もあります。

藤田委員：救急車が出動するシーンは必要だと思います。私たちでも、あの場面は緊張します。

中山委員：撮影等の、消防署の全面協力をお願いします。

武方会長：アイデアのまとめというのは、いつぐらいまでに。

事務局：8月中には、脚本といたしますか、シナリオをつくりたいと考えています。その後、詳細なものをつくって、撮影に入ることになると思います。

中山委員：臨時で集まることになりませんか。

武方会長：DVD作成委員会ですか。どのような感じですか。

中山委員：DVD作成までの大まかなプロセスがあって、テーマを決め、どういう内容で、絵コンテのようなものがある、台詞の内容など具体的なものがある、具体的に進めていかないと、大雑把に、漠然とした意見だけでは何も進みません。きちんと決めて行っていかねければ、今出た意見をまとめても、どの順番なのか、ということもあります。

まとまったDVDの、何十倍もの時間をかけて、あれだけのものにまとめられていると思いますので、プロジェクト委員会をつくらないと、話しが進まないと思います。

事務局：とりあえず、11月中の完成を目指していますので、実際の撮影に入る前には、土台の、脚本ができていなければなりません。その脚本のリミットがあると思いますので、リミットがまず決まってから、それに合わせて、今日いただいたご意見を基に、医師会事務局とも打合せをして、たたき台（案）を作りたいと思います。案ができれば、また見ていただく、ご検討いただく機会は持とうと考えています。集まって見ていただくのか、それとも資料として、個別に送らせていただいて、ご意見をいただくかについては、まだ決めてはおりませんが。

中山委員：あまり時間はないと思います。ささっと動かないと、イメージだけでは映像は撮れません。

武方会長：作成事務局は、保健センターということになりますか。

事務局：事務局は、医師会と保健センターという形になります。

鈴木委員：医師会の中で相談できる、アドバイスできるだれか窓口を決めないと、保健センターだけではなかなか進めにくい。

中山委員：医師会でDVD作成プロジェクト委員会を立ち上げるから。どこに相談していいかもわからないから、私と井石先生と加藤先生の3人で、こういう場合には、こうだということをどんどん言っていきます。明日からでも動いて進めてください。

事務局：はい。

武方会長：DVDは何枚つくりますか。

事務局：かなりの枚数を作る予定です。各病院に配布分と貸出希望の方への貸出分とで、考えています。100枚程度作成予定です。

井石委員：各公民館に、配布すると思います。

鈴木委員：ハートネットワークに作っていただくなら、記念放送をしていただけたらいいと思います。

井石委員：1か月くらい放映してもらえるといいですね。

岡部委員：15分程度になるのか。

事務局：はい。

井石委員：市役所のロビーでも流せるといいと思います。

武方会長：撮影に向けて、取りかかってください。

(議題5概要)

武方会長：続いての議題、救急医療啓発講演会についてですが、先ほど、平成28年度の活動計画案にありましており、講師は中山先生に、開催は1月28日に決まっています。講演内容等について、ということで、去年は、鈴木先生に「みんなで守ろう！新居浜市の救急医療」という演題でお話しいただきました。今決めておく必要はありますか。

中山委員：例えば、広報チラシはいつ頃に配布する予定ですか。

事務局：10月6日に、次回の検討委員会を開催していただくことについて、先ほど決定していただいたかと思いますが、その際、チラシの案を委員の皆様にお示しできればと考えています。

中山委員：昨年度の検討委員会で、講師のお話しを受けた際に、仮のタイトルが、「増え続けるアトピー、アレルギーの原因と対策」とありました。講演の内容は、救急とは関係なくても構いませんか。

事務局：はい。

中山委員：今、考えているのが、アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの最近の話題であるとか、少し変わった食物アレルギーもあるから、それらを紹介しようかと思っています。救急医療啓発の内容にはなりません。

井石委員：少し救急のような意味合いで、マダニについて、触れていただけたらどうでしょうか。

中山委員：最近の話題ということにしましょう。

武方会長：演題はどうしますか。中山先生に考えていただいてよろしいですか。

中山委員：8、9月中に考えて、連絡します。

武方会長：講演の内容は、案にあった演題と同じような形で、アトピー性皮膚炎と食物アレルギーとマダニなど最近の話題についてとします。講演の後に、完成するであろうDVDを流すこととなります。そのときに来場していただいた方たちへの、適正受診についての方法ですが、配布する物から啓発するようなイメージかと思いますが、どうですか。

井石委員：「こんなときには、どうする」というような冊子があったと思いますが。

事務局：はい。保健センターにある啓発資料は、すべて配布させていただいて、帰っていただく予定です。

武方会長：今回、来場者していただく方について、どのような方というターゲットは絞っていませんか。

木戸委員：例えばアレルギーでも、大人の方と子どもとは、違ってくると思います。

中山委員：特に、子どもにとか、大人にとか限ったものではありませんが、食物アレルギーについては、特に運動誘発型というものがあって、学校で昼食後、午後から運動すると蕁麻疹が出て、アナフィラキシーのような症状が出て、救急搬送される事例などを紹介しようかなと考えています。

木戸委員：去年、鈴木誠祐先生にお話しいただいた際は、成人、高齢者の方に多く来ていただきましたので、今回はもう少し、若い世代の方に来ていただければと思います。

井石委員：若いお母さんたちは、興味関心がある内容かもしれませんね。

武方会長：それでは学校等を含めて、広報していくということで、できる限り、今回は、比較的若い方、若年層に来ていただけるようにしましょう。

中山委員：講演時間は、どれくらいの予定ですか。

事務局：60分程度でお願いします。

鈴木委員：一部と二部を入れ替えた方が、たぶんいいと思います。皆さんが来て、DVDを見て、中山先生のお話を聞きたい人がたくさん来て、先生がお話をされた後にDVDのことも含めて、質問にも答えてあげた方がいいと思います。一部でDVDを流して、5分くらい遅れて来る人も、中山先生のお話が最初から聞けるし、前座として、DVDを流した方が構成としてはいいと思います。中山先生がお話を始められるときにちらっと、「DVDで見ていただきましたが、新居浜市は救急医療の事情は逼迫しているので、よろしくお願いします」と言っていたら、質問も受けていただけたらと思います。

武方会長：救急啓発DVDを導入部分にさせていただいて、講演を行っていただくということでよろしいですか。

中山委員：いいですね。

武方会長：このような形で、救急医療啓発医師講演会は進めていきたいと思います。

その他、何かありませんか。

外科の二次救急医療の輪番について、恥ずかしながら知りませんでした。

中山委員：第1から第4日曜までは4病院で、第5日曜は林と立花が交代で、祝日は4病院でというように先日、決まりました。

鈴木委員：第1から第4日曜だけが決まっていますが、6月から、祝日と第5日曜について、決定しました。

中山委員：第1が十全総合病院、第2が住友別子病院、第3が愛媛労災病院、第4が県立新居浜病院と決まっています。

井石委員：医師会ホームページには掲載しています。市政だよりも載せてもらった方がいいですね。

中山委員：新聞には、二次救急医療については出ていません。

鈴木委員：医師会から、例えば新聞社に対し、このようになったことを伝えないと載らないと思います。

岡部委員：医師会事務局で、何か作られるというお話だったと思います。

鈴木委員：祝日については、輪番というよりも、祝日ごとに当番病院が決まっています。

井石委員：医師会事務局から、各機関の広報へ文書を送ってもらいましょう。

武方会長：えひめの医療情報ネットの方は、どうでしょうか。

岡部委員：古いままで、最新の情報ではないと思います。今年度始まってからのお話しですし。

井石委員：急患センターについては、医師会ホームページを見ていただいたら、ちゃんとわかるようになっていきます。

武方会長：次回は、10月6日に開催予定です。他になければ、以上をもちまして、本日の会議を終了します。ご協力ありがとうございました。